

かながわけんとうじしゃめせん しょうがいふくしすいしんじょうれい い しゃかい めざ
神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～
もと きほんけいかく かしょう さくていじょうきょう
に基づく基本計画(仮称)の策定状況について

ぜんかい ついか へんこうてん
《前回からの追加・変更点》

そうろん
▶ 総論

- 「3. 当事者目線の障害福祉とは」
 - + 《当事者目線の障害福祉の実践～県立施設における支援～》の頁を拡充
 - + 《「当事者目線の障害福祉」に基づく地域づくりの推進》の頁を拡充
- 「7. 神奈川県障害福祉を取り巻く状況」
 - ⇒ (4) 指定障害者支援施設等における入所定員の状況を追加

かくろん
▶ 各論

- 各小柱ごとに「目標(スローガン)」を追加
- 各小柱ごとの「現状と課題」を整理
- 各小柱ごとに「計画策定にあたって寄せられた意見の一部」を追加
- 各小柱ごとに「コラム」を追加

【大柱】1.すべての人のいのちを大切にす取組み
 ・【中柱】1.すべての人の権利を守るしくみづくり
 ・【小柱】(1)権利擁護の推進、虐待の防止

該当する象文

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕

(1) 権利擁護の推進、虐待の防止

すべての人の権利が守られ、障害者虐待のない社会を目指します

＜現状と課題＞
 果ては「障害者虐待防止法(平成24年施行)」を踏まえて、重大な人権侵害である障害者への虐待が起きた際、その改善に向けた調査等の権限を有する市町村や神奈川県労働局などの関係機関と連携し、障害者虐待の未然防止や早期発見、虐待が発生した際の迅速かつ適切な対応を図るとともに、市町村職員や障害福祉サービス等の従事者への研修を実施して、障害者の権利擁護の取組み、通報義務や通報者の保護に関する法の趣旨についての周知徹底など、障害者虐待防止法の適切な運用を図っています。
 こうした一方で、虐待に関する通報は年々増加の傾向にあります。この虐待通報件数は、地域で障害者虐待や権利擁護に関する理解が進むことにより増加する側面もありますが、障害者へのいかなる権利侵害や虐待をも無くすることが重要であり、社会全体で取り組む必要があります。
 また、施設等における障害者虐待の例では、「利用者のために」という、支援者の目線で利用者の安全が優先されることで、長時間の居室施設等の身体拘束が行われ、利用者に対する身体的虐待や心理的虐待等に至ってしまう危険性があります。身体拘束ゼロの実現に向けては、職員一人ひとりが身体拘束に関する理解を深めることが必要不可欠であるとともに、当事者の目線を大切にした支援の徹底が大変重要です。
 県立施設では、よりよい支援を進めるため、専門家や障害当事者、市町村等の様々な視点を入れながら支援内容の検証を行っており、このような権利擁護の取組みに障害当事者が参画し、ともに考える体制を整えることが重要です。
 このほか、果ては、障害者により財産管理や福祉サービス等の契約を行う際に、自分ひとりで判断することが難しい方を支援する成年後見制度の利用促進に取り組んでおり、当事者の目線に立った支援が行われるよう、どの地域においても成年後見制度を必要とする人が適切に制度を利用し、地域で尊厳のある自分らしい生活を継続することができる体制づくりを進める必要があります。

【大柱】1.すべての人のいのちを大切にす取組み
 ・【中柱】1.すべての人の権利を守るしくみづくり
 ・【小柱】(1)権利擁護の推進、虐待の防止

障害者虐待件数の推移

区分	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R元)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度
養護者による虐待	93件	100件	97件	80件	124件
障害者福祉施設従事者等による虐待	32件	25件	32件	44件	40件
利用者による虐待	16件	21件	16件	20件	3件

注1 県福祉子どもみらい局調べ。
 2 市町村や県への通報等のうち虐待の事案が認められた件数を計上

障害者虐待の内容(2021(R3)年度(重複計上))

区分	養護者による虐待		障害者福祉施設従事者等による虐待		利用者による虐待	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
身体的虐待	91件	46.9%	24件	47.1%	1件	25.0%
性的虐待	7件	3.6%	6件	11.8%	0件	0.0%
心理的虐待	55件	28.4%	17件	33.3%	0件	0.0%
放棄・放置(おしり)	25件	12.9%	1件	2.0%	0件	0.0%
経済的虐待	16件	8.2%	3件	5.9%	3件	75.0%

注 県福祉子どもみらい局調べ。(割合:件数/虐待件数)

計画策定にあたって寄せられた意見の一部

障害者: 障害があっても人からは大切にされたい。暴力でいうことを聞かせないでほしい。

家族: 施設で障害者虐待を防止するためには、職員だけでなく、その管理者などにも、しっかりと虐待の理解を深める取組みを進めてほしい。

支援者: 障害者権利擁護の研究や、それを具体化していくような部門を、当事者に参画してもらいながら出来ないか。

▶ コラム

- 各小柱ごとに1~2つのコラムを作成中

《委員及びパブリック・コメント意見の反映について》

- 委員意見 (R5年度:第37回、第38回)
- パブリック・コメント (R5.10.19~11.24)

素案に反映作業中
(想定では今年中に完了見込み)

《その他》

- サービス見込み量等、数値の反映

市町村に依頼中
(審議会までには完了の見込み)

《スケジュール》

令和5年	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標、サービス見込量等調査 (10月中に依頼済み) ・県民意見募集 (パブリック・コメント) の実施 (10/19~11/24)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者団体ヒアリングの実施 ▶ 神奈川県障害者施策審議会で計画案を審議
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・各圏域において、成果目標等に関する協議を実施 ・県議会厚生常任委員会に、策定中の素案②を報告 ・成果目標、サービス見込量等の最終調整 (12月中)
令和6年	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県障害者施策審議会で計画案を審議 ・県議会厚生常任委員会に計画案を報告
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・計画完成